



OnTime® GROUP CALENDAR

for Microsoft(Ver.4.1-)

インストールマニュアル
クイック & ステップバイステップ

OnTime Group Calendar Direct Shop

2021/01/26

目次 インストールマニュアル



• OnTime for Microsoft について	p. 3
• OnTimeとExchangeの準備	p. 7
• OnTimeサーバーの為に「SQL Server」のインストール	p. 9
• OnTimeサーバーのインストール	p. 1 4
• OnTime 管理センター初期設定	p. 1 8

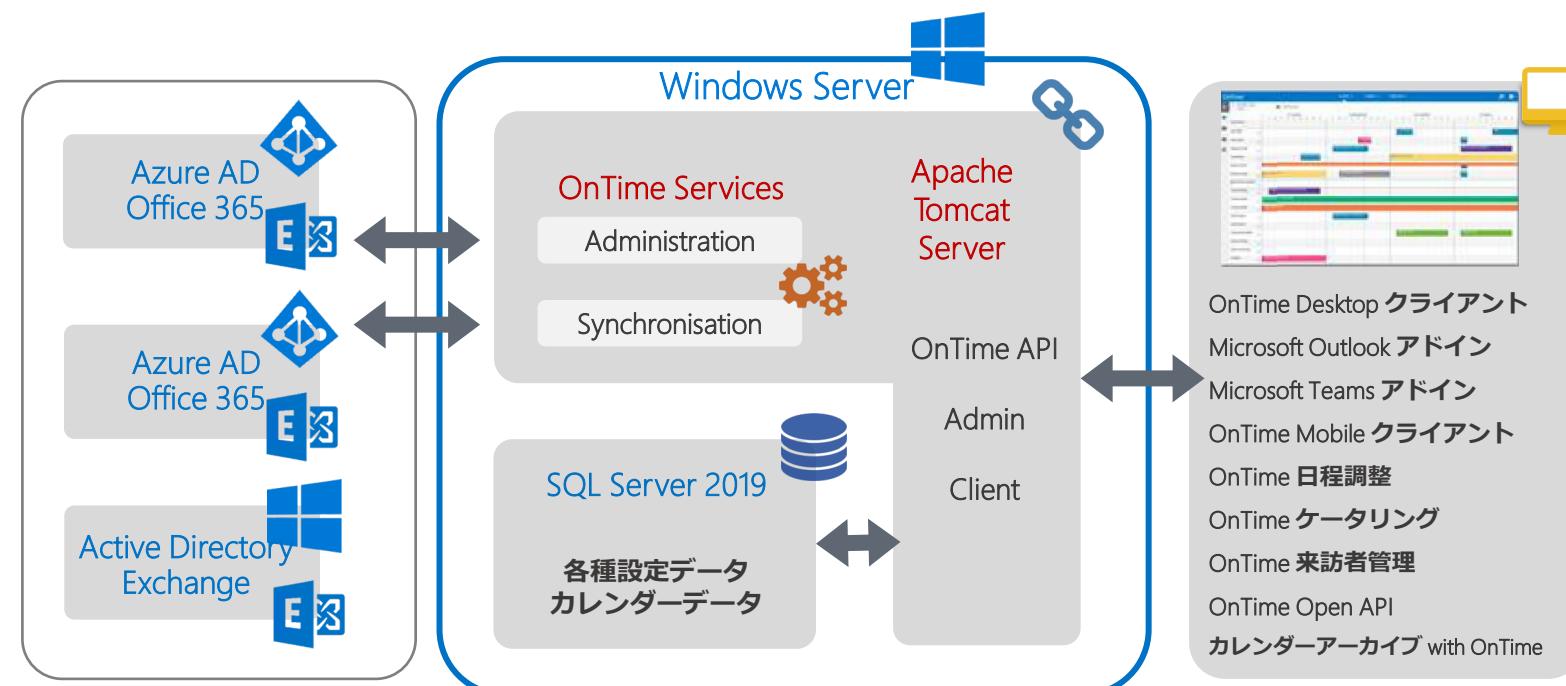


OnTime for Microsoftについて

OnTime for Microsoft について 1 - 構成



- OnTime for Microsoft は Microsoft SQLサーバーとApache Tomcatサーバー(OnTimeサービスを含む)で動作します。
 - Microsoft SQLサーバー 各種設定や予定データのリアルタイムキャッシュを保持。
 - Apache Tomcatサーバー ユーザー及び管理画面及びExchangeのデータ同期を処理。
- 構成するMicrosoft SQL Server 2019 Express エディション、Apache Tomcat Serverはバンドルしています。ただし5000ライセンス以上などエンタープライズ用途の場合はMicrosoft SQL Server は別のエディションを推薦します。



- 各ソフトウェアのバージョン等について
 - Tomcat バンドルされたバージョンのみ
 - Windows Server & SQL Server 下部リンク先のシステム要件をご確認ください
- メール認証やForm認証を含む複数の認証方法を選択できます。
- 使用TCP/IPポート
管理センター :8080 クライアント :80/443
- 必要とするスペックは日々の予定の作成更新数などご利用状況によって変わります。
- システム要件 (OnTime占有分)
 - 2GHz以上のIntel 互換プロセッサ
 - 4GB以上のハードディスク
 - 2GB以上のメモリ
- その他詳細は以下リンク先のシステム要件をご確認ください。<https://ontimesuite.jp/forms/requirementsms/>

OnTime for Microsoft について 2 - 設置



- OnTimeサーバーの配置場所は、各種クラウド環境でもオンプレ環境でもご利用いただけます。ご利用用途に応じてご検討/ご相談ください。
 - 各種クラウド環境に配備
外出先での利用/外部ネットワークからの接続利用が多い場合はクラウドに設置してください。
例えばOnTime for Microsoft Teamsを外部から利用したい場合はクラウド環境への設置を推奨します。
 - オンプレ環境に配備
インターネットゲートウェイの帯域が狭い場合はキャッシュやプロキシーのように設置できます。
OnTimeサーバーをオンプレ環境に設置する場合で外部ネットワークからも接続する必要があればVPN、リバースプロキシー等による接続可能な環境に設置してください。
 - その他にも接続ルートやプロキシーの利用等、ネットワーク環境に応じてOnTimeサーバーの配置先をご検討ください。

OnTime for Microsoft について 3 - 設置



- OnTimeを導入するWindowsサーバーはActive Directoryのメンバーサーバーを推薦します。
 - あくまでもセキュリティの観点からADのメンバーサーバーとしての構成を推薦しています。
 - Exchangeとの同期は別途EWS接続の設定を行うので同じテナントである必要はありません。
 - Azure環境に新規で構築する場合はAzureAD DSをご利用いただけます。AWS等についても同等です。
 - WebSSOを利用する場合はそのADへの参加は必須です。
※WebSSOはWindows端末にユーザーがログインした情報をベースとしてSSOを実現するOnTime認証方式です。
 - どうしてもAD環境を準備できない場合はWORKGROUPサーバーとしてOnTimeサーバーを構築することも可能です。
 - ワークグループ名は「WORKGROUP」「WORKGROUP01」の様な簡易な名称ではなく組織を特定できる命名をしてください。
 - セキュリティの観点からワークグループに所属するサーバーはOnTimeサーバーだけにしてください。
 - 詳細はFAQの <https://www3.ontimesuite.jp/userdomain/> を参照ください。

OnTime for Microsoft について 4 - Teams



- OnTime for Microsoft Teamsは標準ライセンスだけでご利用いただける機能です。
 - Microsoft365(Exchange Online)との接続の認証方式に先進認証(OAuth)で接続した場合は、OnTime Desktopクライアントでも会議作成時に「Teams会議」を選択できるようになります。
 - Microsoft Teamsのチーム/チャネルのタブに表示してチャネルメンバーのスケジュールを表示できます。
- Microsoft Teamsのチーム/チャネルのタブに表示するためにはMicrosoftの仕様のため以下が必要です。
 1. OnTimeサーバーは証明書を利用したhttps接続を利用する必要があります。
 2. OnTimeサーバーはTeamsからリダイレクト先として接続できる場所に存在する必要があります。
 3. OnTimeサーバーで使用する証明書はVer.4.1.0からパブリックな認証局の発行した証明書をご利用ください。
- OnTime for Microsoft Teams設定の詳細は「[Microsoft Teams連携設定マニュアル](#)」を参照して設定してください。

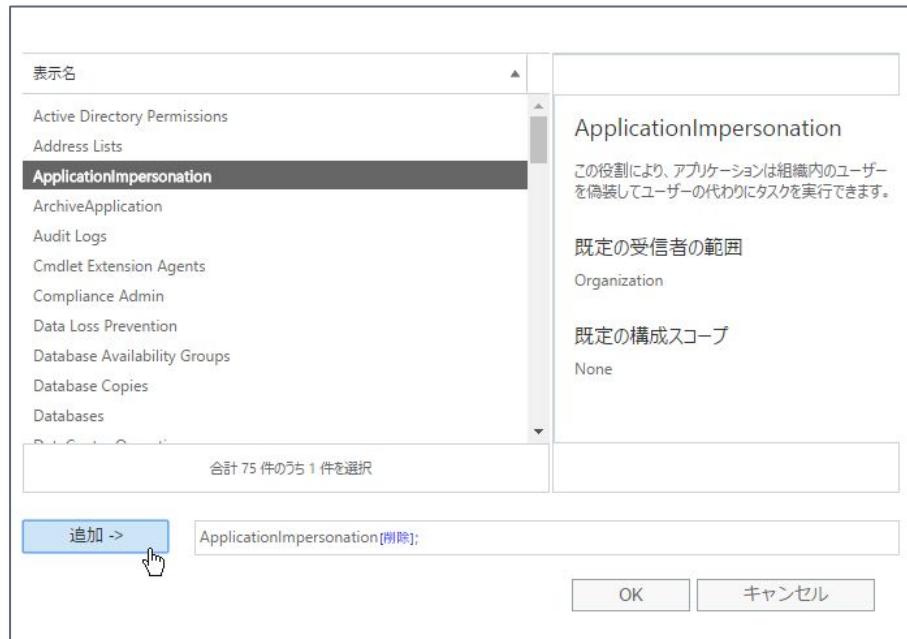


OnTimeとExchangeの準備

Exchange側の設定と準備



- 偽装ユーザー(Impersonation User)について
 - OnTime for MicrosoftをExchange OnlineやオンプレのExchangeに接続する際に、全ユーザーをImpersonation(日本語で演技や偽装)してスケジュールデータの入出力を行う1つのアカウントを指します。 詳細は以下のURLをご参照ください。
<https://www3.ontimesuite.jp/impersonation/>

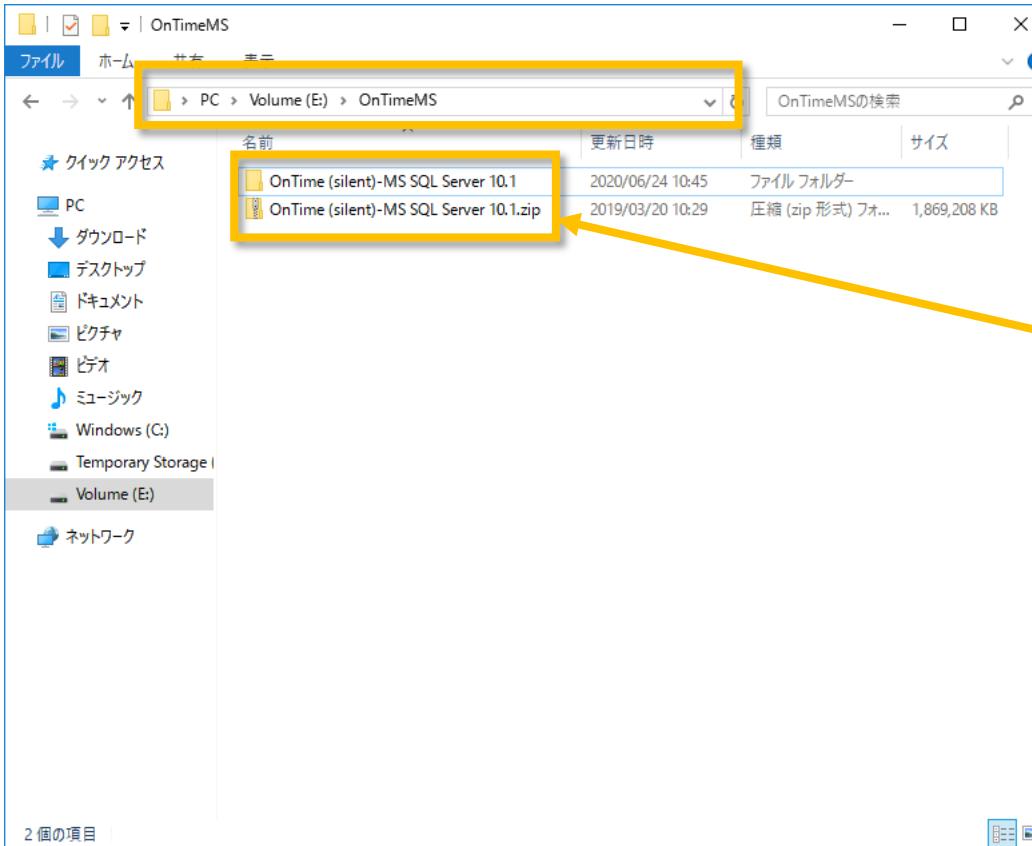


- 同期対象について
 - OnTime for MicrosoftをExchange OnlineやオンプレのExchangeと同期させる際に対象となるユーザー、会議室、備品を選択する必要があります。以下のどちらかを選択できます。
 - グループメールアドレスでの登録
 - OnTimeでは配布グループ、メールが有効なセキュリティグループにて指定できます。
 - 作成する際、「このグループをアドレス一覧に表示しない」のチェックは必ず外してください。
 - OnTimeではExchangeから取得できる一般的な属性を利用できます。
 - LDAPでの登録
 - LDAPもしくはLDAPsによるADもしくはAzureADからの指定。
 - Directoryからの直接抽出なのでカスタム属性やフリガナ属性などもOnTimeに取り込むことができます。
 - AzureADにLDAPs接続する場合はAzureAD DSが必須です。
- ※詳細は「ドメイン設定マニュアル」をご参照ください



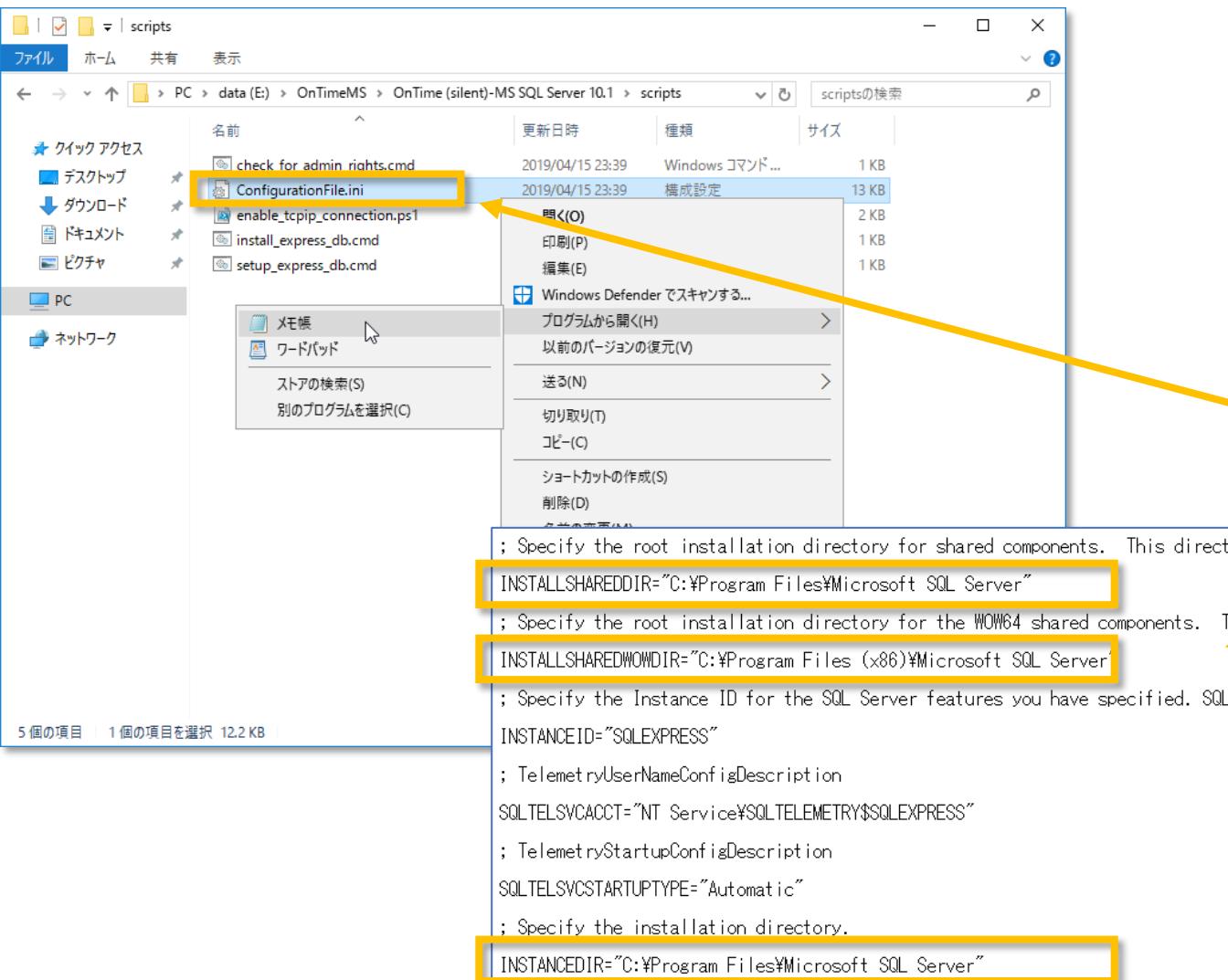
OnTimeサーバーの為に 「SQL Server」のインストール

OnTime用SQL Serverサイレントインストラーの ダウンロードと展開



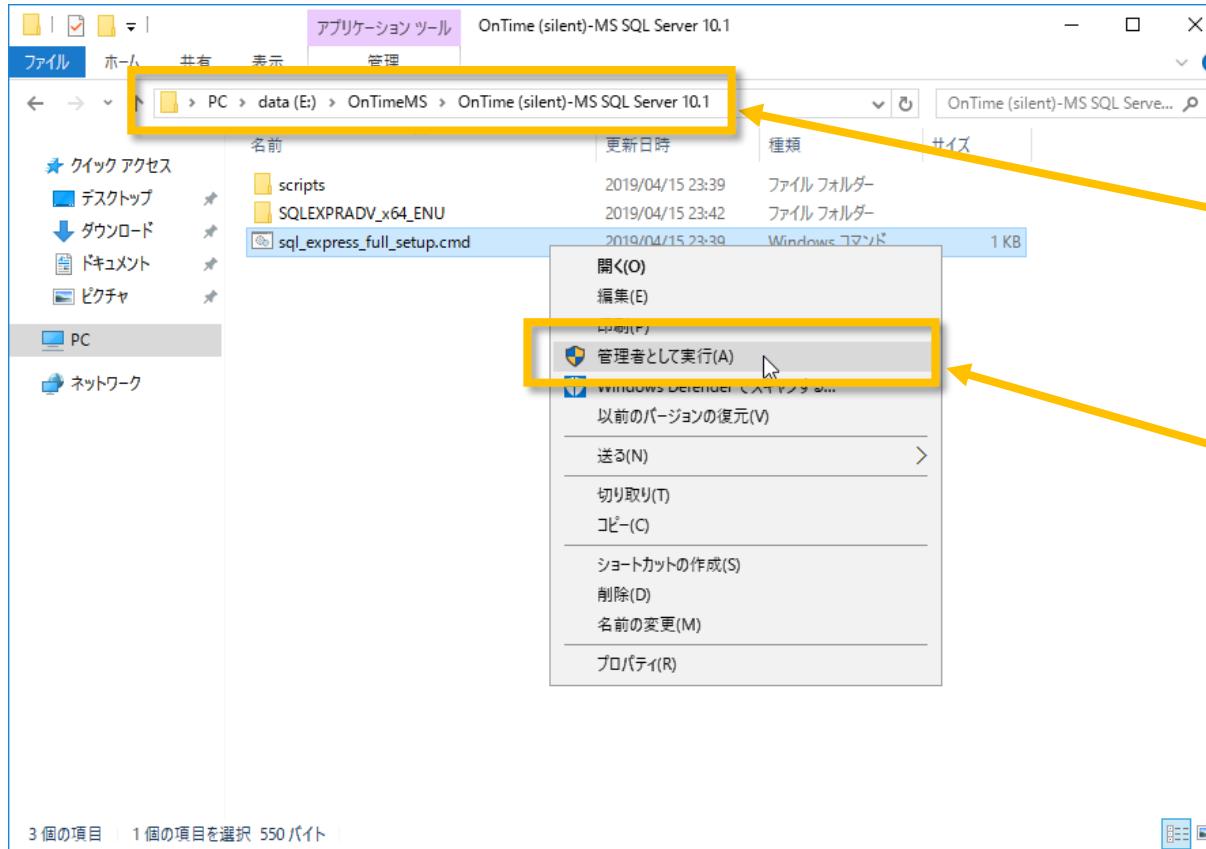
- OnTimeではバックエンドのデータストアとしてSQL Serverを使用します。
- インストール作業はドメイン管理者でログインして行います。
- 簡易にインストールできるようサイレントインストール用スクリプトファイルを準備しています。以下のリンクからダウンロードして展開してご利用ください。
<http://file.ontimesuite.com/SQLExpress>
- 自社で準備したSQLを利用する場合は以下リンク先のSQLセットアップマニュアルを参照してください。
<https://ontimesuite.jp/data/pdf/OnTime-SQL-Server-install-Manual-200403.pdf>

(参考)SQL Serverをインストールするドライブの変更



- ScriptフォルダにはSQL Serverをサイレントインストールできるように各種cmdファイル、sqlファイルが準備されています。
- インストール先がAzure VMの場合はデータディスクはE:ドライブ以降を推薦されていますのでインストール先を変更する場合はパラメーターが記載されているコンフィギュレーションファイルの内容を変更する必要があります。
- インストールフォルダを変更したい場合はコンフィギュレーションファイルを変更してください。
- scriptフォルダを開きます。
- "ConfigurationFile.ini"ファイルをメモ帳などのテキストエディタで開きます。
- エディタの検索機能を使用して3つの"C:¥"の箇所を"E:¥"等のご希望のドライブに変更します。

OnTime用SQL Serverのインストール



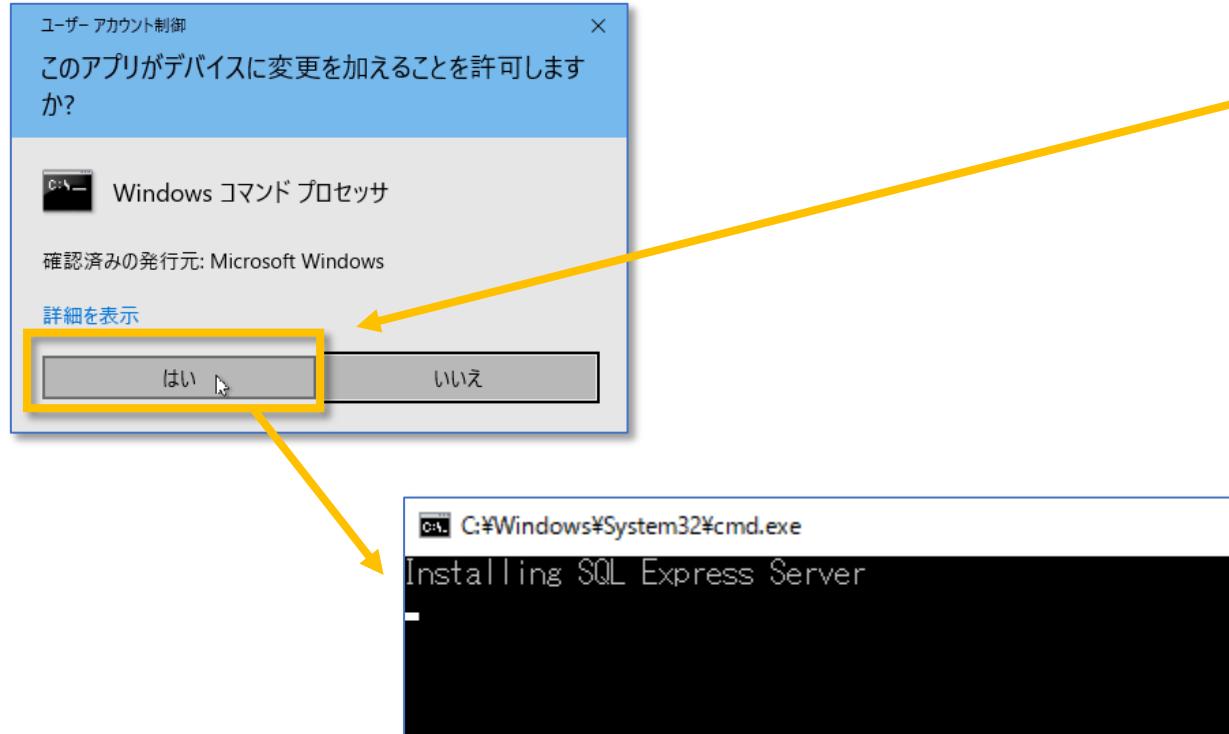
- SQL Serverのインストールは10分程度掛かるので先に実施しておきます。

エクスプローラーを開き、展開したフォルダに移動します。

展開したフォルダ￥OnTime (silent)-MS SQL Server 10.1

"sql_express_full_setup.cmd"を選択します。
マウス右ボタンメニュー「管理者として実行」を選択します。

SQL Serverのインストール画面



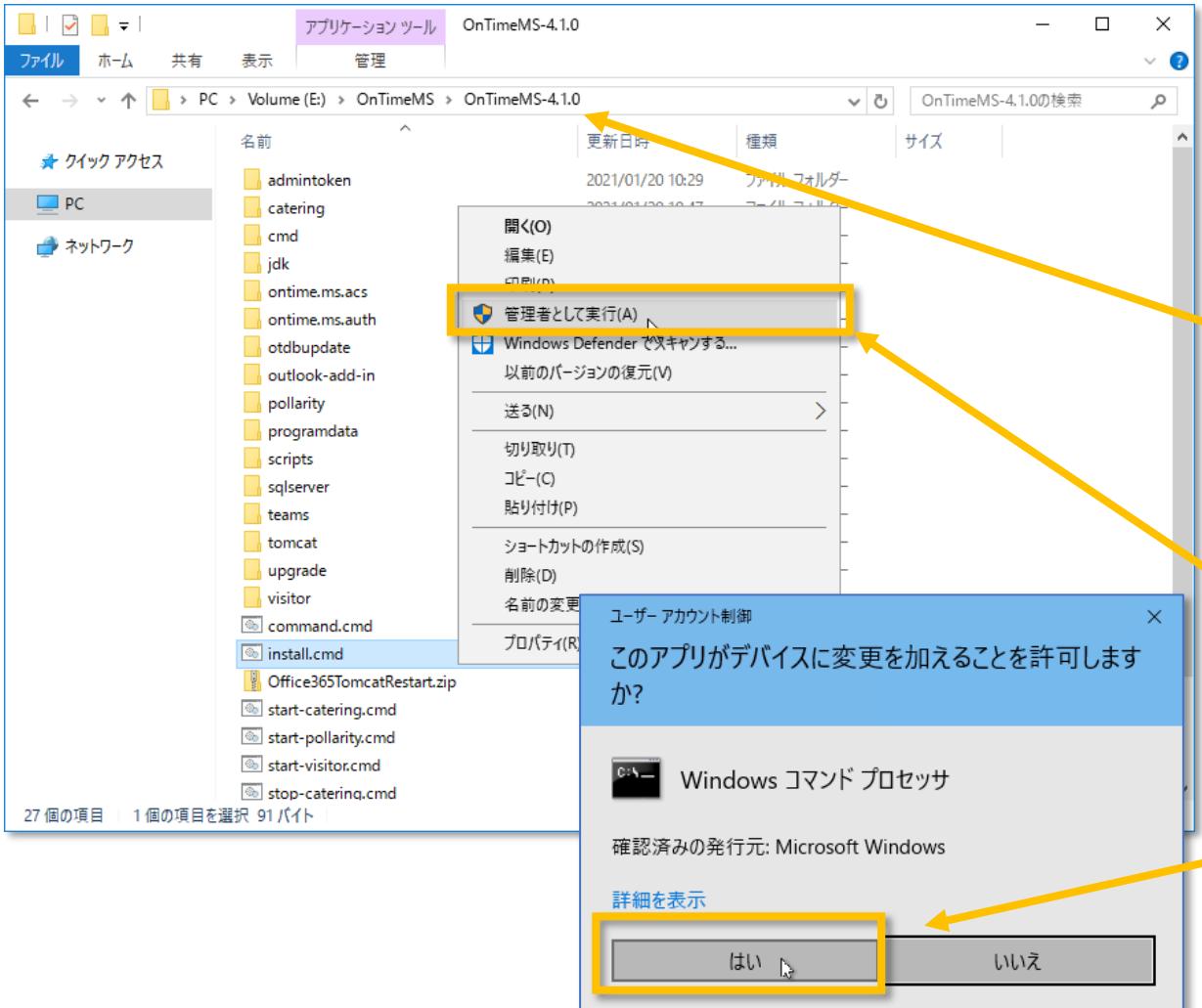
インストールの確認画面(UAC画面)が開きますので「はい」をクリックします。

- スクリプトが実行されている画面が出てきますので閉じずにそのままお待ちください。インストールが完了しますとコマンドプロンプトは自動的に閉じますのでそのまま置いておきます。
- インストールは通常5分から10分程度で完了します。



OnTimeサーバーのインストール

OnTimeサーバーのインストール



- 「OnTime Group Calendar for Microsoft」をインストールします。
- 先ほど実行したSQL Serverのサイレントインストールが完了していることを確認します。

以下のリンクからプログラムをダウンロードします。
<https://ontimesuite.jp/forms/downloads/>

ダウンロードして展開したフォルダに移動します。
展開したフォルダ￥OnTimeMS-x.x.x

“install.cmd”ファイルを選択しマウス右ボタンメニューから管理者として実行します。

インストールの確認画面(UAC画面)が開きますので「はい」をクリックします。

約1分程度のOnTimeインストール画面1



```
C:\Windows\System32\cmd.exe
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0>install.cmd
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0>pushd "E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥scripts"
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥scripts>PowerShell -ExecutionPolicy Bypass
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥scripts>pushd "E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥scripts"
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥scripts>pushd "E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥scripts"
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥cmd>set ERROR_LEVEL=0
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥cmd>set JAVA_HOME=
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥cmd>set CATALINA_HOME=
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥cmd>echo Installation Started in: [2021/01/22]
Installation Started in: [2021/01/22 9:51:48.24]
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥cmd>set ERROR_LEVEL=0
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥cmd>set ERROR_LEVEL=0
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥cmd>SET ontime_db_name=[ontimems]
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥cmd>sqlcmd /h-1 -i "..\$alserver\$set_syslogin
E:¥OnTimeMS¥OnTimeMS-4.1.0¥cmd>CALL set_ontime_login.cmd

C:\Windows\System32\cmd.exe
Migrating schema [dbo] to version 5 - widen culture column from 16 to 64
Migrating schema [dbo] to version 6 - add extended properties table
Migrating schema [dbo] to version 7 - nullify all ad entity usNChanged
Migrating schema [dbo] to version 8 - nullify all prev and ontime user exdi
Migrating schema [dbo] to version 9 - add upn dn deletedat to ontime entity
Migrating schema [dbo] to version 10 - populate ontime entity with upn dn
Migrating schema [dbo] to version 11 - populate ontime entity with group upn
Migrating schema [dbo] to version 12 - recreate extended properties table
Migrating schema [dbo] to version 13 - add nominal ad groups table
Migrating schema [dbo] to version 14 - add roles table
Migrating schema [dbo] to version 15 - add ews permissions table
Migrating schema [dbo] to version 16 - add ad user default capacity constraint
Migrating schema [dbo] to version 17 - create shared groups
Migrating schema [dbo] to version 18 - increase number of sync threads
Migrating schema [dbo] to version 19 - create catering enabled group table
Migrating schema [dbo] to version 20 - add may collide with existing to ad
Migrating schema [dbo] to version 21 - add api user table
Migrating schema [dbo] to version 22 - add api user application id column
Migrating schema [dbo] to version 23 - reset default auth urls
Successfully applied 22 migrations to schema [dbo] (execution time 00:00:73)
3月 11, 2020 11:00:15 午前 dk.intravision.securetokens.PropertyReaderWriter
    情報: Property file was not found, will return empty properties
3月 11, 2020 11:00:15 午前 dk.intravision.securetokens.PropertyReaderWriter
    情報: Properties were changed, will update them
Input your new administrator password (and it cannot be Innovation):
Please type your administrator password again to confirm:

C:\Windows\System32\cmd.exe
erNameAsACE=false;sendStringParametersAsUnicode=true;selectMethod=dirrec
tive;adaptTimeout=-1;packetSize=8000;multiSubnetFailover=false;re
tryCount=1;lastUpdateCount=true;encrypt=false;disableStatementPooling
=e;polarity;columnEncryptionSetting=Disabled;applicationName=Microsoft
SQL Server;applicationIntent=readwrite; (Microsoft SQL Server 14.0)
WARNING: Microsoft SQL Server 14.0 does not support setting the schema
session. Default schema will NOT be changed to dbo!
Successfully validated 10 migrations (execution time 00:00:143s)
Executing SQL callback: beforeMigrate [non-transactional]
WARNING: DB: データベース 'polarity' の 344 ページ、ファイル 1 のファ
イルを処理しました。 (SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: データベース 'polarity' の 5 ページ、ファイル 1 のファ
イルを処理しました。 (SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: BACKUP DATABASE により 349 ページが 0.251 秒間で正常に処理
7 MB/秒)。 (SQL State: S0001 - Error Code: 3014)
Creating Schema History table: [polarity].[dbo].[flyway_schema_history]
Current version of schema [dbo]: << Empty Schema >>
Migrating schema [dbo] to version 1 - create all tables release 1
Migrating schema [dbo] to version 2 - temporary add email date
Migrating schema [dbo] to version 3 - add dates to polls and users
Migrating schema [dbo] to version 4 - add timezone to poll
Migrating schema [dbo] to version 5 - add user email to failed call
Migrating schema [dbo] to version 6 - add casesensitivity to placeholder
Migrating schema [dbo] to version 7 - set owner not null
Migrating schema [dbo] to version 8 - add config table
Migrating schema [dbo] to version 9 - add custom user emails
Migrating schema [dbo] to version 10 - non null created updated
Successfully applied 10 migrations to schema [dbo] (execution time 00:0
Do you want to enable polarity? (y/n) :
y
```

- コマンドプロンプトが開きインストールバッチが走り出します。

- 以下のメッセージが表示されたらパスワードを指定してエンターキーを押してください。
(初回のみ)
「Input your new administrator ...」
- 「Please type your administrator ...」のメッセージが表示されたら、再度同じパスワードを指定してエンターキーを押してください。

- 以下のメッセージが表示されたら y とエンターキーを押してください。
「Do you want to enable polarity?
(y/n) :」

約1分程度のOnTimeインストール画面2



```
管理者: C:\windows\System32\cmd.exe
reOnFirstPreparedStatementCall=false;fips=false;socketTimeout=0;authenticated;authenticationScheme=nativeAuthentication;xopenStates=false;sendTrustStoreType=JKS;trustServerCertificate=false;TransparentNetworkIPResolverNameAsACE=false;sendStringParametersAsUnicode=true;selectMethod=direct;encoding=adaptive;queryTimeout=-1;packetSize=8000;multiSubnetFailover=false;lockTimeout=-1;lastUpdateCount=true;encrypt=false;disableStatementPooling=catering;columnEncryptionSetting=Disabled;applicationName=Microsoft SQL Server;applicationIntent=readwrite; (Microsoft SQL Server 14.0)
WARNING: Microsoft SQL Server 14.0 does not support setting the schema for session. Default schema will NOT be changed to dbo !
Successfully validated 7 migrations (execution time 00:00.176s)
Executing SQL callback: beforeMigrate [non-transactional]
WARNING: DB: データベース 'catering' の 408 ページ、ファイル 1 のファイルを処理しました。 (SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: データベース 'catering' の 4 ページ、ファイル 1 のファイルを処理しました。 (SQL State: S0001 - Error Code: 4035)
WARNING: DB: BACKUP DATABASE (により 412 ページ) が 0.374 秒間で正常に処理されました。 (SQL State: S0001 - Error Code: 3014)
Creating Schema History table: [catering].[dbo].[flyway_schema_history]
Current version of schema [dbo]: << Empty Schema >>
Migrating schema [dbo] to version 1 - create catering tables
Migrating schema [dbo] to version 2 - add locations to menu items
Migrating schema [dbo] to version 3 - add served in meeting rooms for
Migrating schema [dbo] to version 4 - add order for custom fields and
Migrating schema [dbo] to version 5 - add foreign key for menu item
Migrating schema [dbo] to version 6 - add watermark_pk
Migrating schema [dbo] to version 7 - add disabled for location
Successfully applied 7 migrations to schema [dbo] (execution time 00:00.176s)
Do you want to enable catering? (y/n) :
y
```

```
管理者: C:\windows\System32\cmd.exe
..¥webapps¥cateringManager¥web¥lanreg¥region.sv.json
59 個のファイルをコピーしました。
Catering was successfully started.
Changed database context to 'visitor'.
Msg 15023, Level 16, State 1, Server DEMOMSTY\SQLEXPRESS, Line 2
User, group, or role 'NT AUTHORITY\SYSTEM' already exists in the current database.
Changed database context to 'visitor'.
User BUILTIN\Administrators already exists.
Flyway Community Edition 0-SNAPSHOT by Boxfuse
Database: jdbc:sqlserver://localhost:1433;sslProtocol=TLS;jaasConfiguration=0;serverPreparedStatementDiscardThreshold=10;enablePrepareOnFirstPreparedStatementCall=false;authenticationScheme=nativeAuthentication;xopenStates=false;sendStringParametersAsUnicode=true;selectMethod=direct;responseBuffering=adaptive;queryTimeout=-1;lockTimeout=15;lockTimeout=-1;lastUpdateCount=true;encrypt=false;disableStatementPooling=catering;columnEncryptionSetting=Disabled;applicationName=Microsoft JDBC Driver for SQL Server 13.0
WARNING: Microsoft SQL Server 13.0 does not support setting the schema for session. Default schema will NOT be changed to dbo !
Successfully validated 5 migrations (execution time 00:00.164s)
Executing SQL callback: beforeMigrate [non-transactional]
WARNING: DB: Processed 528 pages for database 'visitor', file 'visitor' on page 5.
WARNING: DB: Processed 2 pages for database 'visitor', file 'visitor_log' on page 5.
WARNING: DB: BACKUP DATABASE successfully processed 530 pages in 0.327 seconds.
Do you want to enable visitor? (y/n) :
y
```

```
管理者: C:\windows\System32\cmd.exe
Do you want to enable visitor? (y/n) :
y
..¥webapps¥visitorManager¥#10.0.war
..¥webapps¥visitorManager¥visitorAll.json
..¥webapps¥visitorManager¥fonts¥NotoSans-Bold.ttf
..¥webapps¥visitorManager¥fonts¥NotoSans-Regular.ttf
..¥webapps¥visitorManager¥images¥favicon.ico
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥langreglist.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥language.da.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥language.de.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥language.en.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥language.es.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥language.fr.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥language.it.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥language.ja.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥language.no.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥language.sv.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.da.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.de.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.en.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.en_us.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.es.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.fr.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.it.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.ja_jp.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.ja_jp_su.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.no.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.sv.json
26 個のファイルをコピーしました。
Visitor was successfully started
```

- 以下のメッセージが表示されたら
yとエンターキーを押してください。
「Do you want to enable catering?
(y/n) :」

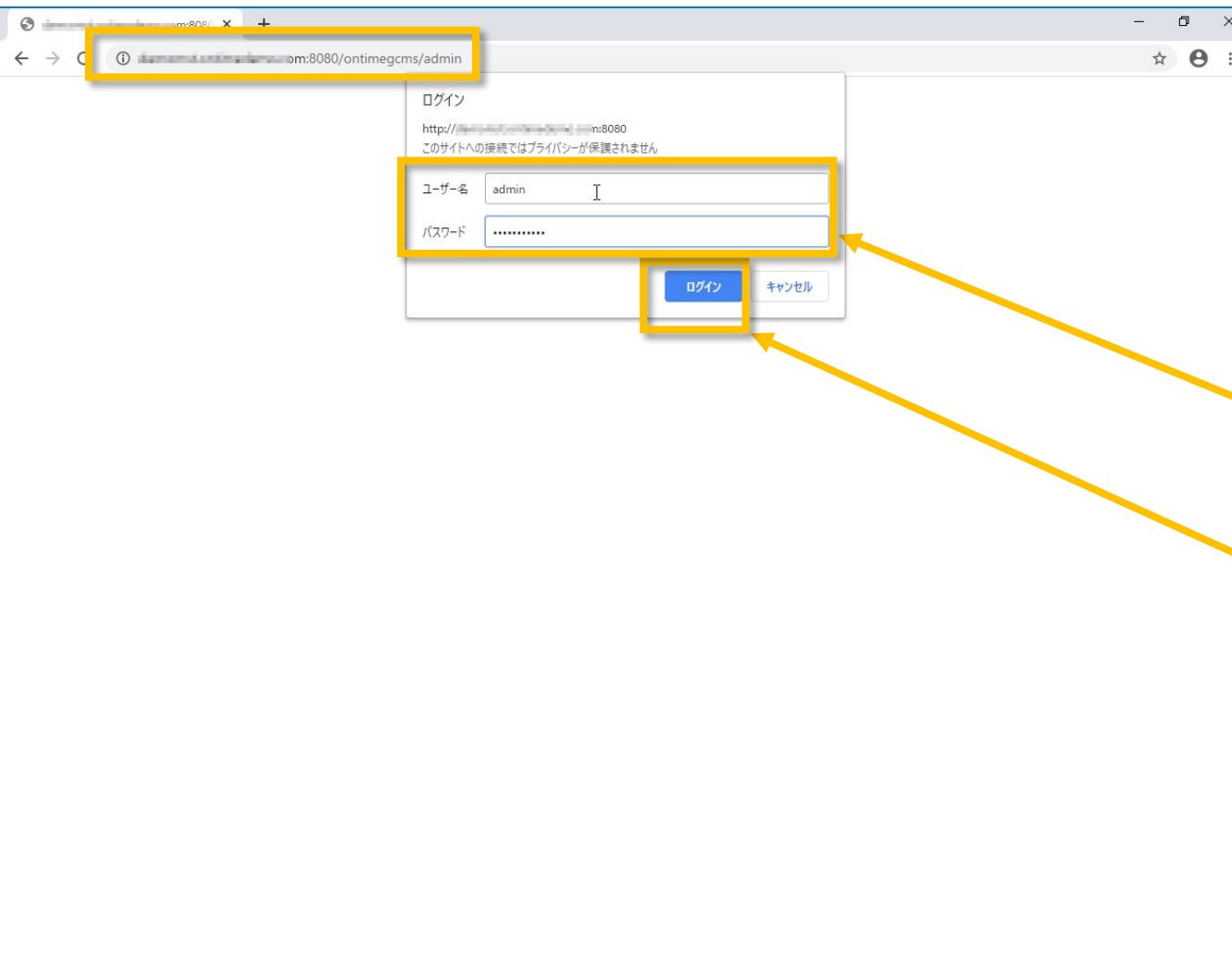
- 以下のメッセージが表示されたら
yとエンターキーを押してください。
「Do you want to enable visitor?
(y/n) :」

- 「Visitor was successfully started」
の文字が表示されると、コマンドプロンプトが
消え、処理が完了します。



OnTime Admin Center (OnTime 管理センター) 初期設定

OnTime 管理センターを開く



- インストールが正常に完了していると以下のURLでOnTime管理センターを開けます。
HOSTNAMEは実際にインストールしたホスト名を指定、またポート8080の指定を必ずつけてください。
 - http://HOSTNAME:8080/ontimegcms/admin

ユーザー名 : admin
パスワード : <インストール時に指定したパスワード>

ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

- パスワードの変更については以下のFAQをご参照ください。
 - <https://www3.ontimesuite.jp/change-pw/>

アクティベーションキーの登録



The screenshot shows the OnTime Admin Center dashboard. At the top right, there is a 'NOT LICENSED' status indicator. Below it, a yellow box highlights the 'EDIT LICENSE' button, which is located in the top left corner of the main content area. A yellow arrow points from the text in the callout box to this button. The main content area displays various system status cards, including Application, Connection Services, Scheduled Services, Polarity Services, and Catering Services sections.

OnTime 管理センターが開いたら
左上の「EDIT LICENSE」をクリックします。

- アクティベーションキーは以下から入手可能です。
 - OnTime 正規販売パートナーからご購入
 - OnTime Group Calendar Direct Shop からご購入
<https://ontimesuite.jp/pricecalculator/>
 - OnTime Group Calendar Direct Shop から60日間のトライアルキーの入手
 - トライアルキー有効期限はダウンロードした日からの60日となります。再発行はできませんのでご注意ください。手順やテスト計画を充分に検討した上でお申し込みください。
<https://ontimesuite.jp/forms/try/>

アクティベーションキーの入力



OnTime - Admin

① 保護されていない通信 | https://...:8080/ontimegcms/admin

OnTime®

ONTIME ADMIN CENTER

EDIT LICENSE REFRESH

DASHBOARD

Application

- Application: RUNNING START STOP Last Status Change: Mon Mar 02 14:51:14 JST 2020
- Subscription for calendar changes: STOPPED START STOP Last Status Change: Mon Mar 02 14:51:19 JST 2020

Connection Services

- SQL Database Connection: RUNNING Last Status Change: Mon Mar 02 14:51:14 JST 2020
- Active Exchange D...: STOPPED Last Status Change: Mon Mar 02 14:51:19 JST 2020

Scheduled Services

- Directory Sync: SCHEDULED TO RUN 02:00 START Last Status Change: Mon Mar 02 10:49:02 JST 2020
- User & Group Sync: SCHEDULED TO RUN 02:00 CANCEL SAVE Last Status Change: Mon Mar 02 10:49:03 JST 2020
- Photo Synchronisation: SCHEDULED TO RUN 02:00 START Last Status Change: Mon Mar 02 10:49:32 JST 2020
- Permission Synchronisation: SCHEDULED TO RUN 02:00 START Last Status Change: Mon Mar 02 10:49:49 JST 2020
- Event Synchronisation: SCHEDULED TO RUN TOMORROW 02:00 START Last Status Change: Mon Mar 02 10:49:35 JST 2020

Polarity Services

- Application: RUNNING
- SQL Database Connection: OK

Catering Services

The screenshot shows the 'Edit License' dialog box open in the center of the screen. The 'License Key' input field is filled with a redacted string of characters. To the right of the input field is a 'SAVE' button, which is also highlighted with a yellow arrow. The rest of the interface shows various service status and control buttons.

入手したアクティベーションキーをコピーして貼り付けます。

「SAVE」をクリックします。

サブスクリプションのアクティベーション



OnTime®

ONTIME ADMIN CENTER EDIT LICENSE REFRESH

DASHBOARD

Application Application: RUNNING START STOP

Subscription for calendar changes: STOPPED START STOP

Application のSTOPをクリック。

OnTime®

ONTIME ADMIN CENTER EDIT LICENSE REFRESH

DASHBOARD

Application Application: STOPPED START STOP

Subscription for calendar changes: STOPPED START STOP

Application のSTARTをクリック。

OnTime®

ONTIME ADMIN CENTER EDIT LICENSE REFRESH

DASHBOARD

Application Application: RUNNING START STOP

Subscription for calendar changes: STOPPED START STOP

F5やりロードでライセンス表示を確認。

OnTime®

ONTIME ADMIN CENTER EDIT LICENSE

DASHBOARD

Application Application: RUNNING START STOP

Subscription for calendar changes: STOPPED START STOP

Subscription…のSTARTをクリック。

OnTime®

ONTIME ADMIN CENTER EDIT LICENSE

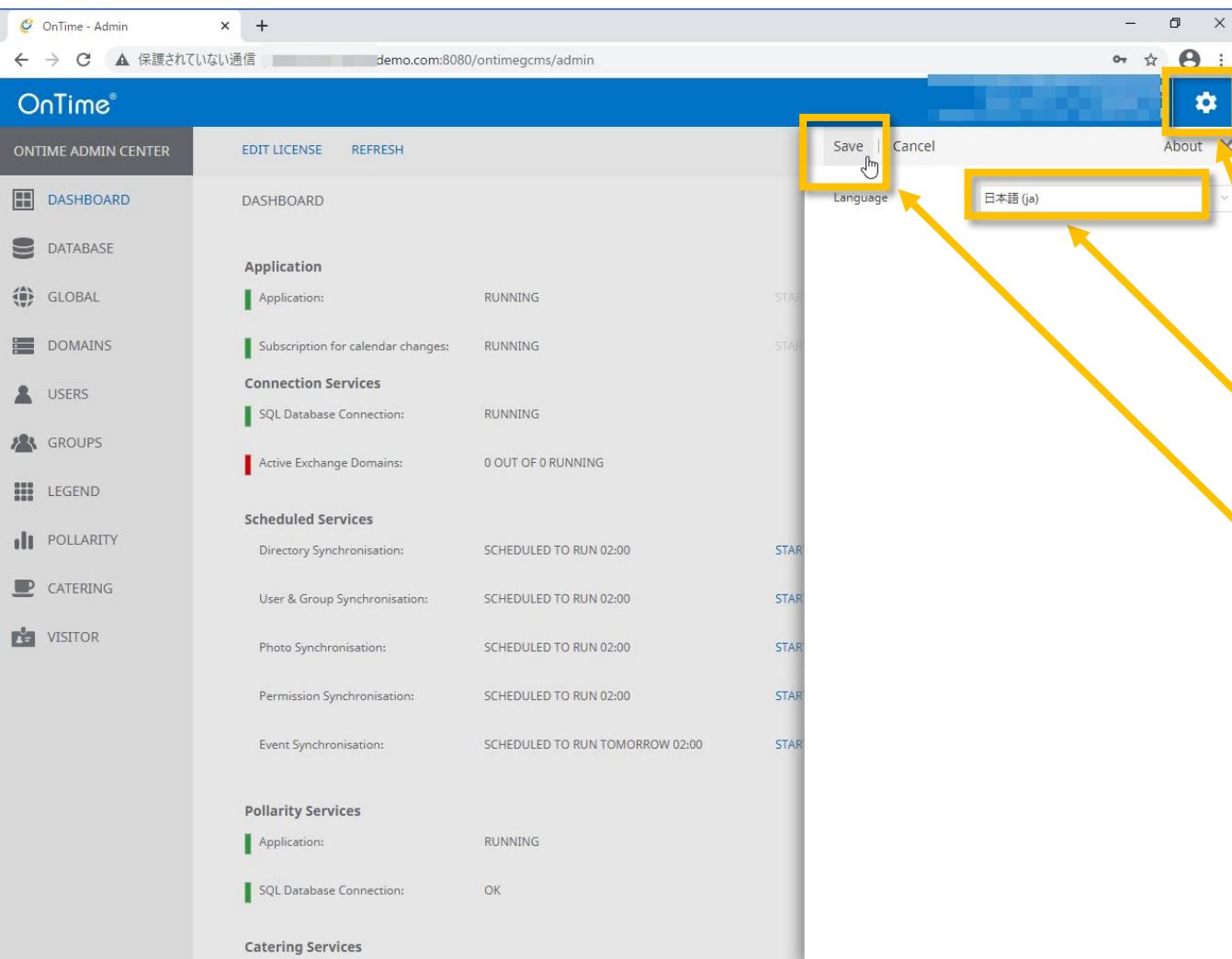
DASHBOARD

Application Application: RUNNING START STOP

Subscription for calendar changes: RUNNING START STOP

Subscription…がグリーンであることを確認。

UI を日本語に切り替えます



- OnTime 管理センターの UI は英語と日本語に対応しています。
- 以後の操作は日本語画面で行います。

画面の右上の歯車アイコンをクリックします。

Language の選択を日本語に変更します。

「SAVE」をクリックします。

- 画面がリロードされ日本語の UI に変更されます。

引き続き各種設定を行ってください



OnTime - Admin

保護されていない通信 demo.com:8080/ontimegcms/admin

OnTime®

ONTIME 管理センター

ダッシュボード

データベース設定

グローバル設定

ドメイン設定

ユーザー設定

表示グループ設定

凡例設定

日程調整設定

ケータリング設定

来訪者管理設定

タッシュボード

システム状況

アプリケーション:	RUNNING
有効なライセンスの確認:	RUNNING
接続状況	
SQL DB 接続状況:	RUNNING
Exchange ドメイン:	0 / 0 RUNNING

同期スケジュール

Directory Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021
User & Group Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021
Photo Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021
Permission Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021
Event Synchronisation:	SCHEDULED TO RUN TOMORROW 02:00	実行	最終実行日時: Wed Jan 20 10:56:49 JST 2021

日程調整

アプリケーション:	RUNNING
SQL DB 接続状況:	OK

ケータリング

- 画面がリロードされるとまだ設定していないExchange ドメインだけが赤色でその他が緑色であればインストールとアクティベーションが完了です。
- 引き続き他の各種設定は「**設定マニュアル**」に基づいて行ってください。
- OnTimeサーバーは証明書を利用したhttps接続を設定できます。
設定方法は下のリンクからご確認ください。
<https://www3.ontimesuite.jp/ssl-cert2/>
- 新バージョン毎の主な新しい機能はリリースノートに記載しています。
<https://www3.ontimesuite.jp/category/release/>